



『一步一步進もう』

~Let's Move Forward Step by Step~
東京六本木ロータリークラブ会長

TOKYO ROPPONGI ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT

東京六本木ロータリークラブ



『ロータリーは分かちあいの心』

~Rotary Shares~
国際ロータリークラブ会長

発行日 2008年6月23日

No. 39

平成20年6月9日

卓話 『中国の最新色彩事情』
西蔓色彩文化発展有限公司 代表取締役
ウジマン
手 西蔓 様

こんにちわ。今日は中国の最新色彩事情についてお話しします。色彩で大事なのはその後ろに隠された文化、価値観が美意識、色彩現象などとして現れてくること。文化というのはその国の歴史から来るものなので、中国の色彩事情を検討するとき、まず中国の歴史から入る必要があると考えます。中国の歴史というと皆さん5千年の歴史を考えると思いますが、私たちには分からぬ部分がありまして、そんなに影響は受けていません。約170年前のアヘン戦争から中国は内戦に入ってしまってずっと進歩しませんでした。毛沢東が立ち上がって中国が国になった後も文化大革命で停滞が続き、やっと30年前に鄧小平さんが立ち上がって、中国は経済発展の道に入りました。そこから中国は本当に変りました。今、中国にいらして目に映る大きな進歩は、殆どこの30年間のものです。

中国の色彩事情を理解する要素として、私は文化的な価値観が大きいと思います。中国人の価値観、どういうものかというと餡の文化。ご存知のように中国人は餃子が好き、ワンタンが好き、肉まんが好き。あらゆる食べ物は皮で包んで中身を見せない。つまり内的な複雑さ美しさを追求するのが中国。一方西洋はピザの文化ではないかと思います。つまりピザもサンドイッチもホットドッグも、皮と中身を同時に表現する。内的と外的な面を一瞬で全部見せるということ。中国の餡文化は50%しか見せませんので、考えて考えて中は何でしょうって、すごく時間がかかる。2番目の要素は教育問題。中国では色彩の教育は小学校から高校まで何もない。大学でデザイン学科に入っても絵で色彩観を教わっているのが現実です。つまり色彩について中国人は認識が無いのが現実です。

そんな背景を考えながら中国の色彩事情、ちょっとだけお話しします。まずは町のイメージはどうかというと、オリンピックの影響もあって全国どこ

でも次々と新しい建物が建設されています。あらゆる都市は競って都市景観、色彩を実施しようとしていますが人材が無い。市政府が大金を出してお願いしても大学のほうは都市景観色彩計画について分らないのが実情です。中国には人口100万を超える都市が沢山あるわけですから、これから全部やり始めると面白いことになるでしょう。

企業がカラーマーケティングを導入するようになって商品色彩はこの5年間で結構変わり、消費者の目もよくなっています。町を歩く人のファッションも色彩を意識的に使うようになりました。カラーコーディネーターもやっと去年中国の通産省に国家資格として認定されて、今約500人が正式なカラーコーディネーターになりました。

日本企業にとってのこれからの中中国戦略。中国も技術は段々と進歩して、技術だけだと日本と中国の差別化を図るのは難しくなっています。その中国で今何が一番弱いかっていうとデザインですね。日本は今までの技術大国からデザイン大国にシフトした方がよいと思います。最後に、PRするとき、今の中国では大衆向けには、品質は外国、値段は手ごろっていうのが歓迎されます。少衆、つまり少ないターゲット層に向けては、品質は外国、値段も外国、センスも外国というが必要です。中国でも日本のデザインで堂々と売っていけば受け入れられると思うし、日本製品に対するイメージも一新させることができるんじゃないかなと思います。

私の一存を述べさせていただきました。ありがとうございました。



**■ニコニコBOX情報**

小西 恵子さん

小山先生。今日は楽しみにさせていただいております。

松木 隆央さん

6月は、妻の誕生日と結婚記念の月です。

松本 智さん

タイガーウッズの頑張りには頭が下ります。すごいです。プレーも勝って欲しいです。

宇佐見 千嘉さん

京都の源氏千年祭で大橋様のみごとな藤原定家の書を拝見させていただきました。感動いたしました。

小嶋 禮子さん

梅雨の晴れ間でほっとしています。

岡田 達雄さん

今週は、グローバル・スポーツ・アライアンスの会員総会があります。

立石 有樹子さん

広島に嫁いだ娘に、二人目の女の子が生まれました。絢子(あやこ)と命名しました。玲子もあさってで2歳になります。

森 佳子さん

小山觀翁先生今日のお話を楽しみにしております。

苅田 吉夫さん

本日は皇淳皇后の御命日の例祭があり参拝してきました。老朽化して再建築中だった宮中三殿は立派にリノベートされていました。

浅田 豊久さん

さわやかな梅雨の日々です！

山本 良樹さん

小山様、本日の卓話を楽しみにしておりました。

渡邊 滋さん

梅雨の晴れ間、緑が目にまぶしいほどです。
「涼風や、青田のうへの雲の影」 森川許六

**6月16日 合計 54,000円
累計 3,708,500円**

■本日のプログラム

**平成20年6月23日
『夢があるから強くなる』
(財)日本サッカー協会 キャプテン
川淵 三郎 様**

プロフィール

1936年12月3日 大阪府高石市生まれ
1955年 大阪府立三国丘高校卒業
全国高校選手権大会出場
1957年 早稲田大学商学部入学
1958年 日本代表選手に選抜される
1961年 古河電工入社
1964年 東京オリンピック出場
1972年 現役引退・古河電工サッカー部監督
(~1975年)
1976年 日本サッカーリーグ(JSL)
常任運営委員(~1980年)
1980年 ロスオリンピック強化部長(~1984年)
日本代表チーム監督(5ヶ月)
1988年 (財)日本サッカー協会 理事就任、
プロリーグ設立準備室長就任
1991年 古河電工退社
(社)日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)
チアマン就任
1994年 (財)日本サッカー協会 副会長就任
1997年 (財)2002年FIFAワールドカップ日本組織
委員会理事就任
2000年 (財)2002年FIFAワールドカップ日本組織
委員会副会長就任
2002年 (財)日本サッカー協会 キャプテン就任

■次回のプログラム

**平成20年6月30日
『年度末夜間例会』**

クラブからのお知らせ

6月16日例会より

●会長
RI表彰 会長賞及び地区表彰 地区インターナショナル協力賞を頂きました。

●幹事

東京日本橋RCより50周年記念誌を頂きました。

東京六本木ロータリークラブ

会長 苅田 吉夫 幹事 岡田 達雄

会報・広報
委員長

安井 悅子

会報・広報
副委員長

片岡 雅敦